



◆元旦の朝。



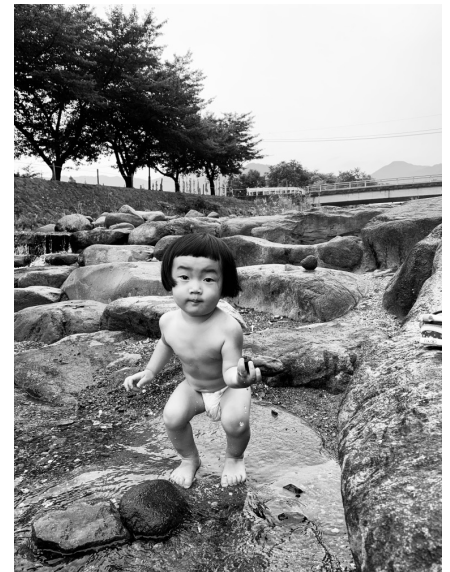
本年もよろしくお願いいたします。現在、第一動力の副班長という役を仰せつかっておりますので、今回の大晦日は消防の夜警に出ておりました。いつも変わりなく、お宮って本当に寒いんですよ～！今までやって来られた消防の先輩方、大変お疲れ様でした。

元旦の朝は毎年同じような寝不足の状態でお雑煮をいただきます。

ああ、今年もこうして無事に新年を迎えることができ、ありがたいなあ、と、まだ少しボーッとした頭で幸せを感じるのです。新年というのは、嫌でも心がシャンとし、これから迎える新しい日々が光り輝いているように感じます。年々それが強くなっている気すらします。遊びはもちろんのこと、今年は仕事で新しい分野も始めるので、楽しみで仕方ありません。

◆だから、昭和かつ！

右の写真は夏にケヤキの森で撮った暖(だん)、左の傘の坊やが今回撮った葉(よう)。うちの子はどうやら昭和生まれのようです。あの両親だから仕方ありませんね笑 完璧な醤油顔です。普段の何気ない写真も、スマホを使って白黒にして遊んでみると、新たな発見があって楽しいですね。



◆お猿と松。

秋頃、村にお猿さんが遊びに来るようになりました。「お猿さん」という響きはとても可愛らしく、愛着が湧くのですが、実際に近くでお猿さんと目が合うと、結構怖いものです。キーツと牙を剥き出し、今にも襲いかかる勢いで威嚇してきます。

この日は、大湯通りの旅館の瓦屋根の上。松と瓦、そこに猿という組み合わせが、なんだかとてもカッコ良く、縁起良く感じます。あ、もう彼らは山に帰りましたので、野沢へは安心して遊びにいらしてくださいね！



◆雪にまみれて。

今シーズンの雪

は、それはもう
文句のつけよ
うがありません。
明けても暮れ
ても

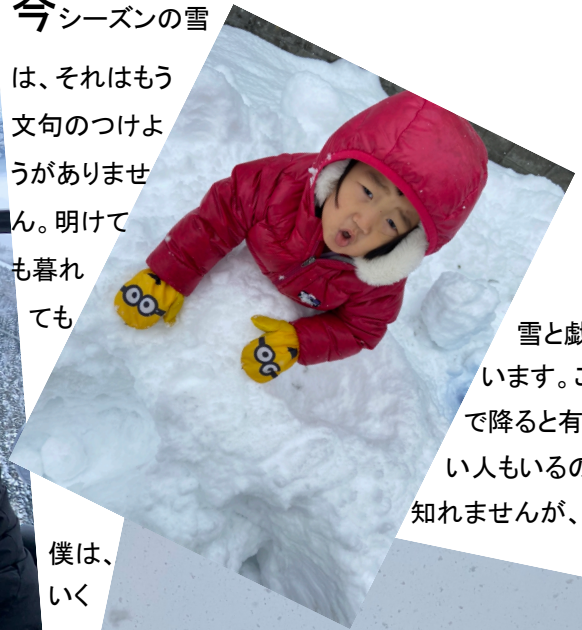
雪と戯れて
います。ここま
で降ると有難く
ない人もいるの
かも知れませんが、正直

僕は、
いく
ら

降ろうとも、「も
っと降れ、もっ
と降れ〜！」と
思ってしまう
のです。

子ども
の頃
から

それは
変わり
ません。
そして自
分の子ど
もたちも
その気持ちは



同じらしく、野沢の「原風景」の中で、彼らの「原体験」
を心から楽しんでいます。遊びっぷりで息子たちに負
けないよう、この歳になっても深雪にダイブしたり、文
字通り「身体を張って」親も楽しんでいます。

やはり、野沢はいつの季節も最高ですよ。